

東第1グループ

ガバナー補佐



横手 幸年
七戸RC

2020-21年度東第1グループガバナー補佐として担当RCは、大畑RC、むつRC、むつ中央RC、野辺地RC、六ヶ所RC、東北RCそして我がクラブ七戸RCの7クラブになるわけですが、地域的にも各クラブ最低3回から4回訪問したいと思っておりますが、何しろ広域に渡る活動になる為、思い通りに訪問できるか今から心配しております。

又、新型コロナウイルスが青森県でも発生しており、各クラブ休会が続いている現状を考えると、何か工夫をして、活動しなければと思っております。

さて、2020-21年度RIホルガー・クナーク会長のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。注目すべき点は、規定審議会でローターアクトクラブの年齢制限が、なくなるようです。新クラブ結成、会員増強に大きく関わってくると考えております。なぜなら、各ロータリアンの事業後継者はなかなかロータリーを理解してくれないし、後継として入会してくれないのが、現状ではないでしょうか、特に30歳でローターアクトクラブを退会し、そのままロータリークラブに入会しないことが、ほとんどではないでしょうか。

今回の30歳の年齢制限がなくなることにより、新規にローターアクトクラブを設立しやすくなり、新しい仲間を作ることが可能になったような気がします。ローターアクトクラブには、そのような可能性を秘めており、ぜひともこの東第1グループに新しいローターアクトクラブを作りたいと思っております。

又源新ガバナーはBelieve Together「信じ合おう」をスローガンに挙げております。特に退会防止と会員増強、ローターアクトクラブへの新たな支援モデルの策定等々地区目標を掲げております。ロータリアンの減少高齢化を考えると、危機的な状況にあることは否めません、これらの事を考えるとこれからは若いロータリアンの育成、ローターアクトクラブの設立を考えたいと思っております。

各クラブを訪問した際には、皆さんとこのことについて話し合い新規ローターアクトクラブの設立を1クラブでも作りたいと考えております。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

東第2グループ

ガバナー補佐



山端 政博
十和田RC

2020-2021年度東第2グループガバナー補佐を務めることになりました十和田RCの山端政博です。在籍11年目となり職業分類は福祉事業でございます。

新年度のRIテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」で、地区スローガンは「信じ合おう」となりました。

現況の新型コロナウイルスが世界を席卷する中で、2830地区の経済界も甚大なる打撃を受け、その立て直しこそ私達ロータリアンの使命であることは明白であります。今こそ組織のリーダーシップ強化は不可欠であり、共に信じあいながら源新ガバナーを補佐するべく頑張りたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

◎プロフィール

生年月日：1950年6月9日生まれ（69歳）

職 業：社会福祉法人生きがい十和田 理事長

西第1グループ

ガバナー補佐



寺田 政史
五所川原中央RC

西第1グループで、この度ガバナー補佐をさせていただくことになりました五所川原中央RC所属の寺田政史と申します。私のロータリークラブへの入会は、2002年3月になりますので、今年が19年目になります。

先般、開催された地区チーム研修セミナー（DTTS）において、RI会長ホルガー・クナーク氏の「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマのもと、源新ガバナーは地区のスローガンとして『信じ合おう』、そして地区の目標として10個を掲げ、私たちへ示して下さいました。『信じ合おう』という言葉、期待と信頼そして友情という思いが込められたスローガンと受け止め、「自分に今、何が出来るのか」を常に念頭に置きながら源新ガバナーの支えになりたいと思っております。

活動計画としては、グループ内のクラブへの四半期に一度の訪問を始め、各クラブの現況、情報収集に努めガバナーへ報告するとともにIMの開催に向けて尽力していきたいと思っております。ただ、コロナ感染の拡大に伴う各クラブの例会開催状況や地域での行事等の開催状況を見守り、指示を仰ぎながら適確な判断で進められるよう努力したいと思います。

一年間、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

西第2グループ

ガバナー補佐



宮腰 浩一
大鰐RC

2020-21年度西第2グループのガバナー補佐を務めることになりました。大鰐ロータリークラブの宮腰浩一と申すます。

2020-21年RI会長のテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』そして源新ガバナーによる、地区スローガンBelieve Together！：「信じ合おう」を掲げられました。

10項目の地区目標を達成するため、大変な時代となりましたが各クラブに助けをいただきながら扉を開くため、信じ合うために頑張りたいと思っております。頼りないガバナー補佐ではありますが1年間よろしくお願いいたします。

中グループ

ガバナー補佐



森内 忠良
青森RC

新型コロナウイルスにより、東京オリンピックを始めとする多くのイベントが延期や中止になっております。我がクラブでも定例会や地区研修会、協議会等が軒並み中止となりました。非常に残念ではありますが、人命、感染拡大防止を考えたときに、やはり英断であると考えます。

そのような異常事態の中で、私は「新たなロータリークラブの形」に気がつくことができました。従来のように、会員一同が同じ空間に集まり、同じ時を共有し、意見交換をし、親睦を深めることももちろん変わらず大事です。グループの連帯意識や士気の向上につながります。しかしこれからは、数名からなる小さな集団での会合も大事になってくるのではないのでしょうか。小さな集団はより親密に、より自由に意見交換をすることができます。また、今まではなかなか目に触れることや耳にすることが難しかった「小さな意見」というのも大事にしていくことができるはずです。そのようなひとりの「小さな意見」が少しずつ膨らみ、テーマとして扱われたり、社会貢献につながったりするという可能性もなかなか興味深いと私は考えます。

また、私もまだまだ苦手分野ではありますが、SNSやインターネットを使用した交流も増えていくでしょう。そのような新たな交流の方法が、若い世代のロータリアンの参加につながります。国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏も「若い人たちに新クラブの設計をしてもらうこと」を強調しています。今はまだ負の局面にいらながらも、「新たな機会の扉を開く」ための準備はきっとできるはずです。

まずは社会の安寧を切に願い、この不安や悲しみを忘れず、未来へつなげることが、真の意味でのロータリアンに近づくことができるのではないのでしょうか。

南グループ

ガバナー補佐



築館 智大
八戸RC

「ロータリーは機会の扉を開く」、Believe Together! 「信じ合おう」

2020-2021年度、南グループガバナー補佐を務めます、八戸ロータリークラブ所属の築館智大です。ガバナー補佐としての役割は、クラブ、地区、国際ロータリーの情報伝達の要になります。

2020年3月現在、新型コロナウイルスの影響ですべての地区の例会、セミナー等が中止になっておりますが、情報が担当地区全体に行き渡るように心がけ、地区、クラブ共に活発な活動ができますように、出来るだけ、訪問回数を増やして皆さんをサポートしていきます。

年初前から始まる地区補助金の申請、PETSから始まるクラブの目標の作成や運営の仕方等クラブの自主性を重んじ、皆さんのクラブの実情に合った目標をRIのテーマ及び地区のテーマを踏まえながら決めていただければと思っています。

11月と3月及びガバナー公式訪問例会前にはクラブ目標の進捗状況の確認及び報告をお願いします。そして、9月には恒例の南グループ親睦ゴルフコンペを開催予定にしています。2月に予定していますIMに関しましても、“肩肘を張らない楽しいロータリークラブとは”を考えてみたいと思っています。

1年間という短い時間ですが、私のテーマは“ロータリーが面白い、クラブの活動が面白い！”とだけ思っただけのようにサポートできれば幸いです。そして、2021年の台湾開催の国際大会に出来るだけ沢山の皆さんと一緒したいと思っています。2021年6月迄、宜しくお願いします。